

ぱぱっとカンタンレシピ

あとなもこどもも いっしょにごはん!



[レシピ紹介]
わこちゃん

じゃがいもやさつまいもよりも低カロリーで、大人のおやつにも大人気♪

こいものみたらし団子風



材料

こいも	7~8個(200~300g)
砂糖	大さじ2・2/1
しょうゆ	大さじ2
片栗粉	大さじ1
水	100ml

あらかじめ
温め合わせておく

作り方

- ① こいもの皮をむき、柔らかくなるまでゆでる。
- ② ゆで上がったらゆで汁を捨て、Ⓐの材料を全て鍋に入れ、こいものからめるようにして混ぜて沸騰させる。
- ③ たれが透明になりとろみがつけば完成(^^♪

♪たれは甘さを控えて、ゆでた大根や
れんこんのはさみ揚げにかけておいしいですよ。

豆知識

こいもは食物繊維が豊富なので便秘予防に最適です！

↑※切り取ってレシピカードとして利用してね！

今年は
Webで！

第20回 みんな集まれ！ ファミリーひろば & ちびっこのつどい 「子どもはみんなの宝物」

今年はおうちでみんなで観てね！

詳細はこちら



【お問い合わせ】ファミリーひろば事務局
NPO法人にしよどにこネット
06-6195-1303 (にっこりRoom おおわだ内)

親子で楽しめる
コンテンツ企画中！

西淀川区役所の子育て支援情報は、区のフェイスブック、ツイッターなどでも発信されています。



フェイスブック



ツイッター



ホームページ

詳しくは 西淀川区役所 総務課（総合企画）5階52番窓口 ☎06-6478-9683まで

区のイベントや防災情報
など随時更新中。
ぜひフォロー＆チェック
してみてください。

西淀川区 子育てまるごと情報 Coo [クー]

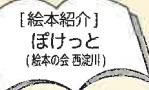
西淀川区 子育てまるごと情報 Coo [クー] は、西淀川区役所HP
からもご覧いただけます。（バックナンバーもご覧いただけます）

ご意見・ご感想など、ぜひ皆様の声をお寄せください。

[メールアドレス] ni-yon@oregano.ocn.ne.jp

*本誌の記事、写真、イラストなどの無断転載、再発行等を禁じます。

絵本 だいすき！



三びきのやぎのがらがらどん

マーシャ・ブラウン／え
せた ていじ／やく
(福音館書店)

はしをわたる三びきのやぎ。名前はどれも「がらがらどん」。

あるとき、やまのくさで ふとろうと、やまへのぼっていきました。のぼるとちゅうのたにがわには、はしがあってはしのしたには、おそろしいトロルがすんでいます。

やまへのぼるには、はしをわらなければなりません。トロルはひとみにしてやろうと おいかかります。きみのわるいおおきなトロルは ぐるぐるめだまはさらのよう、つきでたはなは、ひかきぼうのようです。いちばんちいさいやぎと にほんめのやぎは、機転と機知ではしをわたり、おおきいやぎは トロルにとびかかると つでのめだまをくしづしにひづめにくも ほねも こっぽみじんにして たにがわへつきおとしました。三びきのやぎは、やまへのぼっていきともふと うちへかえるのもやつとのこと。ハラハラドキドキがくせになる不朽の名作です。

西淀川図書館 ●ふわふわクラブ 毎月第1金曜日 10:30~10:50

1月8日(金) 2月5日(金)

・前日までの事前申込制

●もこもこクラブ 毎月第4木曜日 11:00~11:20

1月28日(木) 2月25日(木)

・お申込みは図書館まで

・参加無料

・定員/各回10組(先着順)

※新型コロナウイルス感染拡大に伴い、催しが中止になる場合があります。

※現在、区役所4階「親子ゆったりスペース」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため閉鎖しており、絵本の展示は行っておりません。絵本の貸し出しは図書館にて行っておりますのでご利用ください。

○子育てコラム



「あの時…」をテーマに
子育てコラムを
担当しています
保育士があちゃんです。



0歳児を担任していた頃の事です。

みんな1歳の誕生日を迎えて、よちよち歩きはじめたので、動物園に遠足に行くことになりました。ぞうやきりんなどの動物が出てくる絵本を見せ、しっかり歩けるように、公園にお散歩に行くなど、初めてのお弁当を作ってもらい、お天気も良く、準備万端で出発しました。動物園では絵本に載っていたぞう、きりん、かば、ライオンなど子どもたちが喜んでくれそうな動物を見て回りました。しかし、私が期待していたような子どもたちの表情はなく、それどころかだんだん機嫌が悪くなりました。そこで、保護者の方が作ってくれたお弁当を食べることになりました。どのお弁当も子どもたちが食べやすいように工夫されたお弁当でした。子どもたちの機嫌も良くなり、ホッとしました。その時、子どもたちの周りにたくさんのハートがやってきました。

子どもたちはハートを見つけると「ポップ、ポップ」と指さして大喜びでした。先輩たちはその姿を見て笑っていましたが、「ハートはいつもお散歩の時におけるやんか」と、私はがっかりしていました。この遠足で子どもたちの表情が良かったのは手作りのお弁当とハートを見つけたときでした。1年後も、この子どもたちと動物園に遠足に行きました。子どもたちはぞうを見て「ぞうーさん」と指し、叫んで大喜びでした。そしてお弁当の時にやってきたハートには興味を示すことなく、「きりん、あむあむしてた。」ときりんが木の上の葉っぱを食べてる様子を話しながら食べていました。

1年前とは違うその姿に子どもたちの成長を感じました。「先輩たちはわかっていたんだ」とその時に初めて気が付きました。0歳児の子どもたちには大きすぎ、動かないものは認識しにくかったようです。逆に毎日のように見ていたハートは体験と結びつき、安心できるものだったんです。1年後の子どもたちは、自分の食事ときりんの食事が結びつき、言葉でそれを表現し、共感することができました。体験することがいかに大切かをこの時の子どもたちの姿を通して学びました。今の世の中、架空の体験がどんどんできるようになっています。そのリアルさにびっくりしているのですが、それによって失われるものもあるのではないかと危惧している今日この頃です。